



# 栄養科のご紹介

スタッフは、管理栄養士5名、調理師11名、調理員2名の18名。  
美味しく食べていただける食事作りを心がけています。



2021年6月の移転を機に、  
調理器具も一新し調理効率もUP



自動洗米機



スチームコンベクションオープン



真空冷却機



温冷配膳車

一番変わったのは、**配膳車**で、配膳車自体に保温保冷機能が付いており、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく配膳できます。

## 食事作りで、工夫をしていること

**1 患者様個々に合った食形態**  
呑み込みに問題がある方には、嚥下機能の検査等を行い、一口大・きざみ・ミンチ・ペースト・ソフトと食べやすい形態に変えて提供しています。



普通食

ソフト食

**2 毎月の行事食**  
入院中に季節感を感じていただけるよう取り入れています。



正月

雛まつり

**3 産後の方への3時のおやつとお祝い膳の提供**

手作りを基本とし、毎年新しいものを工夫しています。また、ご出産のお祝いとして祝い膳をお出ししています。

→ 最後のページでご紹介



管理栄養士は、入院中の栄養管理と、少しでもご家庭での食事管理のお手伝いできればと、外来等で栄養指導も行っています。勤務体制は3交代ですが、その日の業務は担当制となっています。スタッフの年齢層は幅広いですが、和気あいあいとした雰囲気の中、切磋琢磨しながら調理技術も磨いています。これからも美味しく、参考になったと言ってもらえる食事作りを心がけ、皆様の健康管理のお手伝いができるようがんばります。



これからも皆様の健康を支えます!



## 新年のごあいさつ



新年、あけましておめでとうございませう。皆様方には落合病院をはじめ医療法人井口会の各施設の運営、活動にご理解、ご協力、そして多大なるご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

旧年は一昨年と同様に新型コロナウイルスに振り回される一年でした。次々と変異株が現れては感染の波が襲ってまいりました。皆様方におかれましても常に感染対策を強いられ、ご負担が多かったことと申します。当院でもいろいろな制限をせざるを得ませんでした。受診された方々や入院された方々、ご家族や関係者の方々には大変にご迷惑をお掛けしておりますがどうかご理解いただきたく思います。また、ウクライナ情勢など世界的に不安定で、円安、物価上昇など私達の生活にも影響が大きくなっています。未だに先が見えませんが一日も早い事態の収束を願ってやみません。

医療・介護・福祉など社会保障に関わる環境は日々目まぐるしく変化し、患者さんやご家族のみならず、行政や医療者側においても大変に厳しいものとなってきております。特に新型コロナウイルスの蔓延は大変に大きな負担となっております。まさに社会全体、人類全体が苦境に立たされていることを実感しています。このような状況ではあります私達は落合病院、向陽台病院を中核として各施設が協力し、地域の方々の生活や健康を守るお手伝いをしてお役に立てるように職員一同、努力、精進を重ねてまいりたいと思っております。

初代理事長の井口與志子が落合に赴任して落合病院の基礎が誕生したのは昭和12年です。80有余年の長期にわたり医業を継続してこられたのはひとえに地域の方々から暖かく見守っていただき、ご支援いただきましたながら育てていただいた賜物であると思っております。おかげをもちまして落合病院は新築移転後、1年半が無事に経過しました。向陽台病院をはじめとして法人施設がより近くなり今まで以上に施設間の連携が緊密になりました。新しい組織に進化して皆様方のご期待に応えるよう努力してまいります。

本年も落合病院をはじめ井口会関連施設のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして良い年、平穏な年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和五年一月一日 医療法人社団井口会 理事長  
総合病院 落合病院 院長  
井口 大助

## 落合病院 TOPIC

### 2年間の研究発表

昨年11月24日(木)第33回目となる院内看護研究発表会を開催しました。当院では看護の質の向上を目的として2年間かけてそれぞれのテーマで研究した成果を発表します。

今回は、療養病棟より「下肢拘縮の改善に向けたポジショニングの取り組み」、産科病棟より「宿泊型の産後ケア事業の利用促進に向けて」、外来より「適切な時期に予防接種を行うための支援」の3席の発表がありました。発表後には活発な質疑応答があり、新見公立大学看護学科の山本智恵子先生に講評をいただきました。コロナ禍での研究は通常業務に加えて大きな負担がかかりますが、看護の質向上のため継続していきたいと思っております。

